

男準々決勝 兵庫県 vs 新潟県

開催場所	東京体育館TD	開始時間／終了時間
試合区分	男準々決勝	主審
開催期日	2017年03月29日	副審



テーブルレポート

兵庫県

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	松岡 太陽	6	1	1	1	2
5		島袋 青瑚	1	0	0	1	1
6		長谷川 啓太	2	0	1	0	3
7		岡村 里来	2	0	1	0	0
8	*	佐野 悠皇	8	2	1	0	0
9		岸田 大喜	0	0	0	0	0
10	*	丸山 翼人	20	4	4	0	2
11	*	島原 拓己	10	0	4	2	4
12		中林 立夢	0	0	0	0	0
13		大窓 陸人	0	0	0	0	0
15		森山 陽向	1	0	0	1	2
17	*	松山 雄亮	8	0	4	0	1
HC 服部 達哉/ TEAM							0
合計		58	21	32	5	15	

新潟県

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	小川 敦也	16	3	3	1	0
5		磯部 海斗	-	-	-	-	-
6	*	横田 楓	3	0	1	1	4
7	*	品田 真吾	18	4	2	2	1
8		佐藤 孝樹	2	0	1	0	0
9		山際 爽吾	-	-	-	-	-
10		中曾根 伶旺	-	-	-	-	-
11	*	中谷 悠人	8	0	3	2	1
12		神田 航汰	8	0	3	2	3
13		坂井 優介	-	-	-	-	-
14		平岡 陸太朗	0	0	0	0	1
15	*	成澤 賴	6	0	2	2	5
HC 堀 里也/ TEAM							0
合計			61	21	30	10	15

S スターター PTS 総得点 3P 3ポイントシュート 2P 2ポイントシュート FT フリースロー F ファウル

レポート

接戦を制して勝ち上がってきた兵庫県と、連覇を狙う新潟県の対戦。

第1ピリオド、新潟県#4、#7のドライブ。兵庫県、#4、#8の1対1で得点。ポストを生かした攻撃も加わる。

第2ピリオド、新潟県はドライブインを試みるも、兵庫県#17の高さに阻まれる。しかし、#4、#7の3Pシュートで得点。兵庫県も、#4、#10の3Pシュートで得点を重ねる。兵庫県は高さを生かし、オフェンスリバウンドに果敢に飛び込みチャンスを広げる。一方、新潟県はリズムを掴めず苦しい展開。兵庫県、残り44秒で同点に追いつく。新潟県、残り17秒でタイムアウト。その後、新潟県#11のドライブインが決まり、26-28で前半終了。

第3ピリオド、兵庫県の高さを生かした攻撃はさらに続く。#15の連続ポイントで、新潟県は開始1分30秒でたまらずタイムアウト。新潟県はディフェンスリバウンドを死守し、何とか攻撃のリズムをつかもうとする。1対1の巧みさとシュート力を生かす新潟県、高さを生かす兵庫県、互いの持ち味を存分に発揮した攻防が続く。

第4ピリオド、開始1分でリバウンドを死守してきた新潟県#15が4つ目のファウル。開始3分11-5と苦しい展開。兵庫県#15の連続得点で突き離しにかかる。一進一退の攻防に備えて、残り2分53秒でタイムアウト。新潟県#15を再びコートに戻し奮起する。残り1分31秒で58-59と逆転に成功。しかし、1分1秒で新潟県#15が痛恨の5ファウルで退場。兵庫県はボールを奪い攻撃のチャンスをつかもうとするも、ファウルになり、フリースローを与えてしまう。新潟県は確実にフリースローを決め、58-61で勝利。最終日に駒を進めた。

兵庫県、新潟県互いの持ち味を存分に発揮した好ゲームであった。会場の観客を魅了する戦いを繰り広げた両チームの選手に大きな拍手を送りたい。